

国府津駅周辺整備事業で市民の声をどう受け止めるのか



吉田ふくじ議員

国府津駅周辺整備事業について

吉田福治議員は国府津駅周辺整備事業について、①整備内容はどのようなものか。②駐輪場の利便性や市民の声をどう受け止めるのか質問。

国府津駅周辺は広場内への車両の出入が多く、渋滞が深刻化しています。

無料駐輪場も自転車の数が多く、放置自転車もあり、盗難や乱雑さで苦情が寄せられています。

【答弁】駅西側用地に一般車両の乗降場と駐輪場を新たに設置する。整備後の駐輪場は、受益者負担の考えに基づき、有料とすることが妥当。地元の意見、ご要望も伺い、安全性と利便性の高い施設整備を早期に手掛けていきたい。

吉田議員はこの答弁を受けて、「国府津フラットスポット」の存続を要望しました。

㈱HGSTジャッパン小田原事業所の再就職状況について

㈱HGSTジャッパン小田原事業所の閉鎖後の再就職状況について、離職された約500名の内約7割の方が再就職されたことが明らかになりました。市は「引き続き、関係機関等と連携して、再就職を希望している未決定者の再就職活動を支援する」と答弁。

芸術文化創造センター整備事業について

芸術文化創造センター整備事業については、新居氏の実施設計を市はどのように評価しているのか質問。

【答弁】実施設計は、基本計画を具現化したもので、その趣旨を反映している。市民の意見を反映してきたものと評価している。吉田議員は新居氏の実施設計を生かすべきであると強調、市長の見解を質した。

【答弁】実施設計図書に基づく整備は難しいものと考えている。

さらに、吉田議員は子供たちに夢を与えるホール建設をすべきと質問。

【答弁】将来を担う子供たちのためにも、芸術文化創造センター整備にこれからも取り組んでいく考えである。

最後に、議員はアドバイザーとして、豊洲市場の設計をした日建設計になったことでの問題を指摘しました。

*日建設計とは：ホール建設は、国の「多様な入札契約方式モデル事業」にえらばれ日建設計が支援事業者に決まる。豊洲市場の盛り上がり問題や建設費の高騰等、この設計を行っている。

よつになっているのか

【答弁】表の通り答弁。田中議員の調査で、平成27年に小田原警察署管内での自転車乗車中の事故は、15歳以下、65歳以上に多いことが判明。

平成25年	222件
平成26年	239件
平成27年	194件
合計	655件

市内の自転車事故件数

歩行者と自転車利用者の安全対策を提案

そこで、中学生を対象にした交通安全教室の積極的な開催と車道に自転車ピクトグラムを整備をさらに進めるとあるので、その効果・検証の報告を今後行つべきと提案しました。

【答弁】中学校に積極的に開催を呼びかけて行く。報告は然るべき時に行う。



車道の自転車ピクトグラム

市民の安心・安全、介護、市民ホールなどについて質問

日本共産党
小田原市議団

9月市議会
一般質問



関野たかし議員

実施設計の白紙撤回は公約違反にならないか

芸術文化創造センターの建設について質問。9月の市長等が行った議員説明会で、改めて整備方針を決定するとしている。(1)実施設計の取り扱いに財政推計の結果、収支の見直しが厳しい等々理由をあげている。そして実施設計図書に基づく整備は難しい。今後秋に向け整備のあり方を取りまとめ秋に公表するとしている。

これは事実上実施設計を白紙撤回するようなもの。そうだとすれば、市長公約、小田原市の前期基本計画、市民とともに市政を作りあげるといふ政治理念、これらの手法を投げ捨ててしまうことにはならないか。ホール建設の市民のエネルギー、専門家の

方向性を決定する前に実施設計者と市長が会って話し合いを

前進座演出家橋本氏は全国で公演した300を超える劇場を使用した専門家の立場から、「稀に見る優れた設計」。ホール建設は音響や照明、舞台機構について周到な準備と計算を重ねて設計される。この実施設計は市民と専門家が一年以上かけ市民と作り上げた。これを破棄してしまうのは市民、近隣の人たちに大きな損失。

舞台美術家の妹尾河童氏は「変な劇場は建てないでください」「劇場は50年間建て直せない」「市民のための劇場を」として、次の世代に宝物として手渡して育ててほしいと述べている。全体の方向性を決める前に実施設計者と市長自らが会って話し合いをすべきと質問。

デザイン・ビルはよいホールは建たない

財源確保に全力を

実施設計を白紙撤回する主な理由は財政推計としている。市の借金等も平成26年度決算で、加藤市政になり313億円減り、財政調整基金を約31億円増やしている。今までも三大事業の見直しと財源確保を求めてきた。

【答弁】新居氏と会うことは考えていない。適正な規模で必要な機能を備えた施設をより建設費を抑えて整備していく。

以上の他に、小田原市職員の健康管理の現状と今後の改善方策について、久野霊園の合奏式墓地建設の早期実施の方向性について質問。合奏式墓地建設は引き続き検討を進めると答弁。

平成27年度決算、予算は市民のためにどう使われたのか

以下は決算特別委員会で、日本共産党が行った主な総括質疑と答弁の一部です。

アドバイザー委託料の妥当性について (19,116,000円)

質疑 斎場整備事業のアドバイザー委託料が高すぎると考えるが積算根拠はどうなっているのか。

答弁 特定事業の選定、延べ700件以上あった要求水準書等に対する質問回答書の作成作業などに対する、アドバイザーの人件費が主なもの。他の先行事例や内閣府のガイドラインを踏まえても妥当である。

住吉橋修復実施計画について (12,960,000円)

質疑 現状の住吉橋は銅門側が雨だれにより腐食している。内仕切り門と橋の欄干の直接的な雨水対策は今回の設計ではとられているのか。

答弁 新たな橋の床板に水勾配を付け、水切用金物を木材の腐食抑制効果のある銅製に変更する等により、雨水の影響による劣化を従前よりも防止する対策を講じた。



雨水、長寿命化対策を促進



国民健康保険について

質疑 昨年度に比べて一人当たり保険料が上がり、県内19市中上位である。今後保険料の引き上げをすべきではない。

答弁 本市は県内でも一人当たり医療費が高い状況にある、高齢化の進展や医療の高度化に伴い医療費が増加している。医療費の伸びを抑制し、保険料の上昇を抑えていきたい。

決算特別委員会請求資料40 保健課

県下各市1人当たり国民健康保険料・繰入金一覧（平成25年度～平成27年度）

(単位:円)

保険者名	1人当たり保険料(現年分)			1人当たり一般会計繰入金		
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
小田原市	(4) 105,381	(6) 102,409	(4) 102,776	(15) 32,138	(11) 36,981	(11) 40,840
横浜市	(2) 113,194	(2) 110,631	(7) 100,555	(10) 36,285	(12) 36,602	(14) 39,764
川崎市	(3) 105,849	(4) 106,822	(3) 104,905	(4) 40,134	(7) 39,918	(2) 49,859
横須賀市	(15) 93,916	(13) 96,115	(13) 94,146	(2) 43,933	(2) 45,865	(3) 49,800
平塚市	(14) 93,938	(15) 92,368	(16) 91,023	(7) 37,417	(9) 38,596	(5) 47,495
鎌倉市	(9) 98,180	(7) 100,131	(8) 99,073	(11) 35,434	(18) 28,449	(17) 34,618
藤沢市	(5) 102,161	(3) 107,589	(2) 106,692	(18) 26,289	(16) 30,092	(16) 36,942
茅ヶ崎市	(7) 100,788	(5) 104,171	(6) 100,696	(17) 30,231	(14) 30,655	(15) 38,018
逗子市	(18) 84,123	(10) 98,058	(10) 96,840	(1) 50,666	(5) 41,815	(12) 40,765
相模原市	(12) 95,017	(14) 93,796	(14) 92,510	(5) 39,799	(6) 40,745	(4) 49,493
三浦市	(10) 96,725	(9) 98,955	(12) 95,637	(13) 34,478	(15) 30,221	(10) 41,484
秦野市	(17) 89,082	(18) 90,879	(18) 89,176	(12) 34,757	(3) 44,282	(9) 42,218
厚木市	(11) 96,336	(12) 97,937	(5) 101,260	(9) 37,105	(4) 43,241	(6) 45,632
大和市	(8) 98,361	(11) 97,970	(11) 96,501	(8) 37,398	(10) 37,158	(8) 42,400
伊勢原市	(6) 101,645	(8) 99,877	(9) 98,516	(6) 38,508	(8) 39,541	(7) 43,944
海老名市	(13) 94,182	(16) 91,951	(15) 91,326	(14) 32,396	(17) 28,742	(13) 39,943
座間市	(19) 82,482	(19) 81,827	(19) 80,545	(3) 43,912	(1) 49,176	(1) 51,975
南足柄市	(1) 114,805	(1) 111,873	(1) 108,387	(19) 24,363	(19) 21,851	(19) 27,435
綾瀬市	(16) 91,457	(17) 90,987	(17) 89,314	(16) 31,136	(13) 35,084	(18) 30,690
単純平均	97,770	98,650	96,836	36,125	36,790	41,753

平成27年度決算は14会計の内3会計のみ認定できないことを表明

現在小田原市斎場整備事業はPFIで進められている。日本共産党は老朽化している斎場の新たな整備には賛成だが、不透明な部分が多いPFIには反対してきた経緯がある。

アドバイザー委託料はアドバイザー業務を内閣府が推奨。「内閣府のPFIに関するアンケートの結果について」「アドバイザー委託料の積算根拠について作成してほしい」「コンサルティング費用等で高コストがかかる」「アドバイザー委託にあたり、委託料の積算基準がないため対応に苦慮した」などとの指摘がある。

PFI推進の国の大本のところが疑問や問題を抱かせることになっている。積算根拠が不鮮明である。結果、一般会計の斎場整備事業アドバイザー委託料について、競輪事業特別会計は理念上、後期高齢者医療事業特別会計は75歳以上を別枠とした事業導入のあり方に一貫して反対している経緯から認定できない。残りのすべての会計決算については認定しました。

水道料金の値上げ条例に反対

水道料金が来年1月から平均20.8%値上げ、基本料金はおよそ40%の値上げとなるもの。労働者の実質賃金は下がり、国民の消費購買力は低下しています。このような時に値上げすべきでない等と反対しました。

ご存知でしょうか、小田原市・南足柄市「中心市のあり方」に関する任意協議会が開始となりました

小田原市は南足柄市との合併、中核市、新たな広域連携を目指すとしています。これで本当に市民のくらし、福祉が良くなるのでしょうか。

○なぜ今協議するのかを、次のように示しています。

①直面する危機として人口が加速度的に減少②高齢者が急増、現役世代は激変③市の収入は横ばいから減少傾向へ④市の義務的な支出が急増⑤かつてない人口減少・少子高齢化、経済力の低下、都市機能の集積の低下が不可避、税収減や行政効率の低下で安定的な行政サービスが困難に、2市からも県西地域からも人口が流出してしまう、県西地域全体に「消滅」の恐れ?!などとなっています。

確かに人口は減ってきています。肝心なことは、なぜ人口が減ってきているのかなど、原因の究明と対策が必要であり、現状と推計を示しても問題は解決しないと考えます。

平成の大合併で合併した市町村でも人口減少等が進んでいます。「合併ありき」の声があります。

市民とともに徹底した議論が必要ではないでしょうか。

日本共産党の
無料法律相談
担当弁護士
岡村三穂
次回
12月6日(火)
1月10日(火)
午後1時より
※予約制ですので、
相談される方は、関
野、田中、吉田まで
お申し出ください。

法律相談・市政・生活相談は
下記へご連絡ください
TEL/Fax 住所
関野たかし 42-0316 曽我岸90
田中りえ子 35-5389 扇町1-6-2
吉田ふくじ 49-3759 南鴨宮3-9-8
(市役所 市議団控室 33-1789)
Ex-1(代表) tanakarieko@nifty.com